

令和7年度 第5回青森県特別支援学校総合スポーツ大会
「チャレンジフライングディスク競技」実施要項

1 実施期間 令和7年7月1日（火）～ 令和7年7月31日（木）

2 会 場 エントリー生徒在籍校体育館 他

3 競技内容 アキュラシー（個人）

4 競技規則 青森県特別支援学校総合スポーツ大会申し合わせ事項に基づいて行う。

(1) エントリー対象

- ・特別支援学校に在籍する中学部・高等部生徒を対象とし、障害種や性別による区分けはしない。
- ・1人1種目にエントリーが可能である。ただし、フライングディスク競技にエントリーしている生徒は不可とする。

(2) 競技種目

- ①ディスリート・スリー：スローイングラインの中央よりアキュラシーゴールまでの距離を3mとする。
- ②ディスリート・ファイブ：スローイングラインの中央よりアキュラシーゴールまでの距離を5mとする。

(3) 競技方法

- ①アキュラシーゴールは、直径（内径）91.5cmの円形、パイプの径は2.5cmとし、前面がスローイングラインと平行で、外径の最下部は地上から61cmの高さとする。屋外で実施する場合ゴールの設置は、追い風を基本とする。
- ②10回連続して試技を行い、得点はディスクが地面に触れずに直接アキュラシーゴールを通過した回数とする。
- ③試技の時間は、選手が1投目のディスクを受け取ってから5分とする。

(4) 記録・認定

- ①得点数に応じて、以下の通り級を認定する。

級	1	2		3		4		5			敢闘賞
成功枚数	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0

- ②記録は専門部で用意した記録用紙に記入し、学校単位で集約したものを専門部に提出する。
- ③認定証は各校で記入を行う。認定は、専門部で承認した級または賞を記入する。
- ④大会当日までに認定証を必要とする学校は、記録の提出を7月3日（木）までとし、その旨提出時に伝える。
- ⑤記録提出の最終締め切りは7月31日（木）とする。

(5) 無効試技について

- ①選手が1投目のディスクを受け取ってから5分を超えた試技は無効とする。
- ②選手がスローイングラインの前面を除く上部に触れるか、踏み越えたときには無効とする。
- ③車いすまたはいすの接地面が、スローイングラインの上部または外側の地面に触れるか、踏み越えたときには無効とする。フットレストがスローイングライン上の空間に出るのは認める。
- ④無効となったスローイングは、1回の試技とみなされる。

5 支援者

- ・支援者は、移動の支援をし、競技の支援は基本的に行えない。競技場内では選手の競技上有利になるような助言等をしてはならない。

6 その他

- (1) 上記規則にのっとり、認定証及び敢闘賞を成績に応じて授与する。
- (2) 賞状の氏名及び記録については各校で行う。

【フライングディスク専門部主管校】

青森県立森田養護学校

委員長 勘林 秀平

TEL 0173-26-2610

FAX 0173-26-3270

E-mail 2020ases014@gmail.com